

仕様

検知方式	燃料電池センサー
センサー寿命	校正有効期限の月まで使用、またはセンサー使用回数が累計約50時間(約20000回*の測定に相当)になるまで(どちらか早い方)
呼気中アルコール濃度測定範囲	0.050~1.000mg/L 0.001mg/L単位 0.050mg/L未満は0.000mg/L表示
電源	100V AC (50/60Hz)
使用温度範囲	5~35℃(結露なきこと)
保管温度範囲	0~40℃(結露なきこと)
寸法	約幅271×高さ124×奥行184mm
質量	約1.3kg(センサーモジュール含む)
主な材質	ABS、PMMA、PP(マウスピース)、PVC
生産国	日本
付属品	取扱説明書(本器用、センサーモジュール用)、 保証書(本器用、センサーモジュール用)、ACアダプター、 マウスピース×10本、プリンター用ロール紙(感熱ロール紙)×1、 点検キット用ケース、点検キット、調整脚

*デザインおよび仕様は予告なく変更する場合があります。

*0.050mg/L以上の呼気測定を続けた場合、センサー使用回数が少なくなります。

*ACアダプターやマウスピース、プリンター用ロール紙、点検キットはオプション品として購入できませんので、弊社サンコーテクノ株式会社(裏表紙)までご連絡ください。



サンコーテクノ株式会社

〒270-0107 千葉県流山市西深井1028-14

ホームページ URL <http://st-alc.com/>

0120-071-735

FAX 04-7155-6325

ST20007601(2)-2112GN

SANKO TECHNO

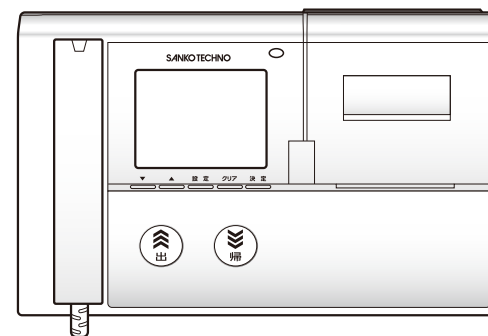
取扱説明書

らくらく設置、簡単操作、顔写真自動撮影で本人確認。

ALCFace

アルコフェイス

アルコール検知器 ST-2000



※本書に記載されているイラストはイメージ図です。

もくじ

ご使用前に

●使用目的に関するご注意	2
●定期メンテナンスの流れ	4
●安全上のご注意	5
●各部の名称/付属品	9

準備する

●センサーモジュールを取り付ける	11
●プリンター用ロール紙をセットする	12
●ACアダプターを接続する	13
●電源を入れる	14
●設定する	16

測定する

●測定する	21
-------	----

必要なときに

●設定を変更する	27
●クリーニングについて	29
●センサー寿命について	30
●アップデートについて	31
●簡易点検について	32
●バージョン確認	34
●故障かな?	35
●仕様	裏表紙

お願い

誤った使い方をしますと、重大な事故につながるおそれがあります。この取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。また、必要な時にはすぐに取り出せるよう、身近に大切に保管してください。

ご使用前に

準備する

測定する

必要なときに

使用目的に関するご注意

警告



禁止

道路交通法第65条第1項には、「何人も、酒気を帯びて車両等を運転してはならない。」と遵守事項が定められています。本器の測定データは飲酒の有無を判断するための一つの判断材料であって、運転の可否を判断するものではありません。測定結果に基づいて、車両の運転や機器の操作などを行って良いか否かの判断に対して、本器の製造者、および販売に携わる関係者は一切責任を負いません。

定期メンテナンスの流れ

定期メンテナンスとは、本器に取り付けるセンサーモジュールを定期的に交換することです。



必ず守る

アルコール検知器はお客様ご自身で行う日常点検のほかに、定期メンテナンスが必要です。定期メンテナンスを行わずご使用された場合、精度の保証はできません。継続的にご使用いただく場合には、定期メンテナンス期限が切れる前に定期メンテナンスの実施をご依頼ください。

保証書をお手元に用意してください。

※保証書を紛失された場合は、弊社サンコーテクノ株式会社へご連絡いただき、その旨お伝えください。



必ず守る

●センサーモジュールを交換するときは、必ず本器の電源をOFFにしてください。
▶故障するおそれがあります。

定期メンテナンス期限が近付いた場合や、
定期メンテナンス期限が切れる前に測定回数の上限を超えた場合

弊社サンコーテクノ株式会社に「定期メンテナンスの実施」をご依頼ください。
ご依頼方法はホームページ上からお願いします。

ST-2000 メンテナンス



フリーダイヤル：0120-071-735

交換品のお届けと定期メンテナンス期限切れ品のご返却

お届けした交換品をご使用ください。定期メンテナンス期限切れ品は案内に沿って速やかにご返送ください。

ご使用前

定期メンテナンスの流れ

■定期メンテナンス実施のタイミング

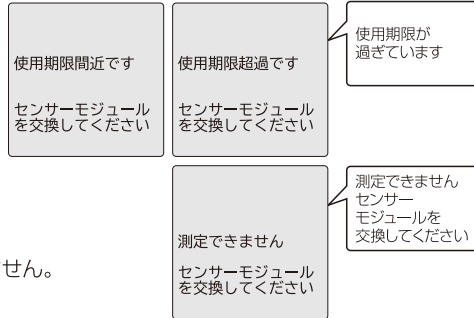
定期メンテナンス期限が近づいた場合は、弊社サンコーテクノ株式会社にて定期メンテナンスの実施をご依頼ください。

1.使用期限による予告

センサーの精度はセンサー使用回数に関わらず時間とともに低下します。

定期メンテナンスの予告

- ・使用期限が近づくと「使用期限間近です」と表示されます。(30日～1日)
- ・使用期限が超過すると「使用期限超過です」と表示されます。(30日超過まで)



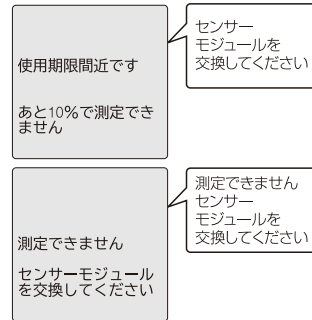
測定の停止

超過が30日を超過していると測定できません。

2.使用回数による予告

定期メンテナンスの予告

センサー使用回数が残り10%(残り回数が約2000回*)になると「10%」が表示されます。定期メンテナンスされる場合は、弊社サンコーテクノ株式会社までご連絡ください。(本書P.3参照)



測定の停止





センサー使用回数が残り0%(約20000回*の測定に相当)になると測定できません。
※測定結果がきちんと表示された場合にセンサー使用回数として自動カウントされます。測定中に中断したり、「エラー」が表示した場合はカウントされません。

※本器はセンサー特性上、校正有効期限の月まで使用、またはセンサー使用回数が累計約50時間以上(約20000回*の測定に相当)になると一定の精度を保持できなくなるおそれがあります。このような場合には精度の保証はできません。
なおセンサーの交換時期は検知器本体から案内が表示されます。

*0.050mg/L以上の呼気測定を続けた場合、センサー使用回数が少なくなります。

安全上のご注意

本書では、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただきたいことを次のように説明しています。本文をよくお読みいただき、安全に正しくお使いください。

 警告	この表示の欄は「死亡または重傷を負うおそれのある」内容です。		
 注意	この表示の欄は「傷害を負うおそれまたは物的損害が発生するおそれのある」内容です。		
 禁止	してはいけない「禁止」内容です。	 必ず守る	必ず守っていただく内容です。
お願い	本器を最良の状態を保つために守っていただきたい内容です。	お知らせ	本器の使用・点検に関連して、お客様に知っていただきたい補足事項です。

安全上のご注意(つづき)

取り扱いについて

警告



禁止

●分解や改造は絶対にしない。

- ▶ センサーには酸性の材料が使われていますのでけがをするおそれがあります。眼に入ると失明することがあります。万が一付着した場合、直ちに付着部分を多量の水で15分以上洗い流し、医師の処置を受けてください。

注意



禁止

●本器を子どもの手の届く場所に置かない。

- ▶ 付属のマウスピースなどを誤飲してけがをするおそれがあります。万が一飲み込んだ場合には直ちに医師に相談してください。

●本器、センサーモジュールの水洗いは絶対にしない。

- ▶ 故障するおそれがあります。

●過度の衝撃や振動を与えない。

- ▶ 故障するおそれがあります。

●10℃以上の温度差がある場所に移動させた場合、2時間以上放置してから使用する。

- ▶ 正しい測定ができない場合があります。

●カメラのレンズに直射日光など強い光を長時間当てない。

- ▶ 故障するおそれがあります。

●ACアダプターをご使用の場合、濡れた手でプラグを抜き差ししない。

- ▶ 感電するおそれがあります。

●本器の性能、品質維持のため、必ず専用ACアダプターをご使用ください。

- ▶ 100V以外では使用できません。

●ACアダプターをコンセントやACアダプターコネクターから引き抜く場合は、ケーブルを引っ張らないでください。

- ▶ 断線するおそれがあります。

●ACアダプターのケーブルやコネクターが傷んでいる場合は使用しないでください。

●ACアダプタープラグにごみやほこりなど付着させないでください。

●ACアダプターのケーブルを釘などで固定しないでください。

●ACアダプターのケーブルの上に重いものを置かないでください。

- ▶ 感電やショート、発火のおそれがあります。

保管について

注意



必ず守る

●次のようなところには絶対に保管しないでください。

- ▶ 故障するおそれがあります。
 - ・ 芳香剤、たばこ、スプレー等のおいしの強いところ。
 - ・ 直射日光の当たるところ。
 - ・ 暖房器具に近いところ。
 - ・ 温度や湿度の変化の大きいところ。
 - ・ 保管温度範囲外のところ。(車内などは温度が高くなり、寒冷地では温度が低くなりますので絶対に放置しないでください。)
 - ・ 湿度が高いところ、または水のかかるようなところ。
 - ・ 湿度の低いところ。
 - ・ ほこりが発生しやすいところ。
 - ・ トイレ内やトイレの近くなど、アンモニアの影響があるところ。

●アルコール類と一緒に保管しない。

- ▶ センサーに悪影響を及ぼすおそれがあります。

●センサーモジュールにマウスピースを取り付けた状態で保管しない。

- ▶ おいしや水滴によりセンサーが故障するおそれがあります。

お手入れについて

注意



必ず守る

本器、センサーモジュール

●本器、センサーモジュールの汚れは水で湿らせ固く絞った柔らかい布で拭いてください。

- ▶ 清掃に熱湯や洗剤、除菌グッズ、ベンジン、シンナー、アルコールなどは使用しないでください。

薬品を使うとセンサーに悪影響を及ぼすおそれがあります。

●付属の簡易点検キットを使用して週1回の精度チェックを実施してください。

マウスピース

●ご使用いただく前にマウスピースに亀裂などの異常がないか確認してください。

- ▶ 異常がある場合、正しく測定できないおそれがあります。

●マウスピースを洗浄するときは、水洗いしてください。

- ▶ 熱湯や洗剤、除菌グッズ、ベンジン、シンナー、アルコール等は使用しないでください。

薬品を使うとセンサーに悪影響を及ぼすおそれがあります。

安全上のご注意(つづき)

測定について

警告



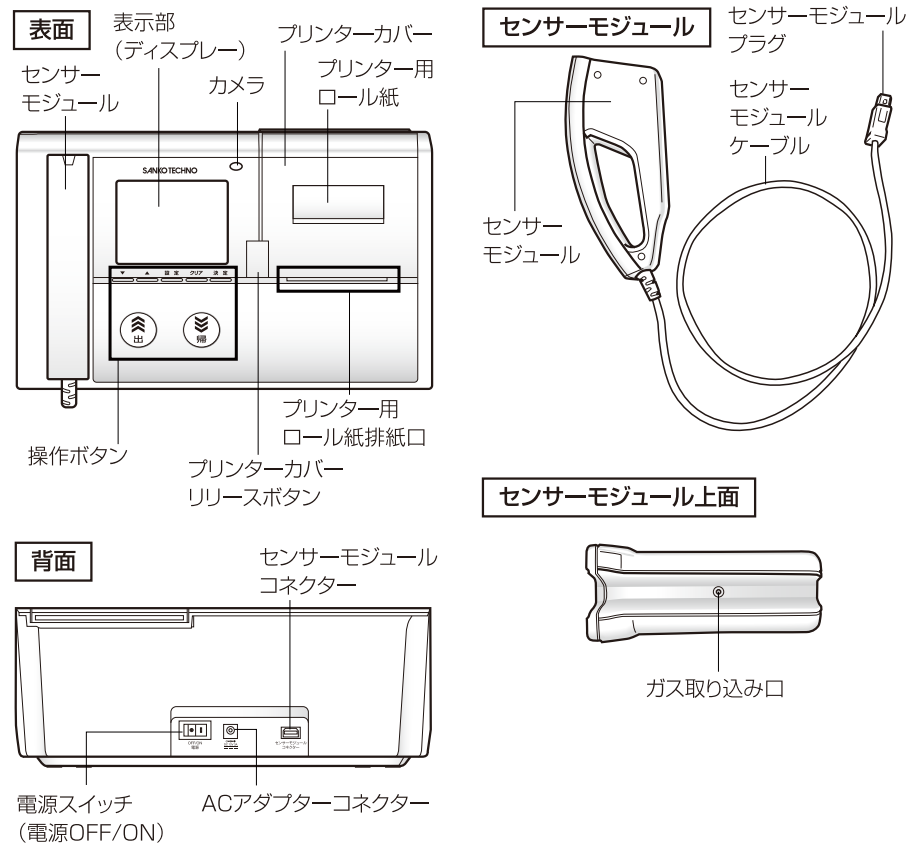
- 車両の運転や機械操作の最中に測定しない。
▶注意散漫になり、思わぬ事故を起こすおそれがあります。
自動車などの運転中に本器、センサーモジュールを使用したことに起因する事故に対して、本器、センサーモジュールの製造者および販売にたずさわる関係者は一切の責任を負いません。
- 複数の人で一つのマウスピースを使い回さない。
▶センサーモジュールを複数の人が使用する場合には、それぞれの人が必ず自分のマウスピースを使用してください。
- 測定のときにマウスピースをくわえたまま、息を吸い込まない。
▶誤って吸い込むと、故障したり、けがをするおそれがあります。
- 唾液や水などがセンサー内部に入らないように注意する。
▶故障するおそれがあります。

注意



- マウスピースに強いにおいや汚れがある場合はマウスピースを交換する。
▶においや汚れが付着している場合、正しく測定できないおそれがあります。
- 食事、喫煙、オーラルケア用品を使用した直後に使用しない。
▶センサーモジュールは、呼気中のアルコール濃度を測定するため、お酒を飲んでいなくてもアルコール成分を含んだものやにおいの強いものを口にした後は、センサーが反応することがあります。
例：たばこ、オーラルケア用品など
うがいをする、もしくは20分以上経過してから測定してください。
- ST-2000の設定場所はカメラに直接、太陽光や照明が入らない場所に設置することをお勧めします。
▶逆光や半逆光になると顔認識ができないおそれがあります。

各部の名称/付属品

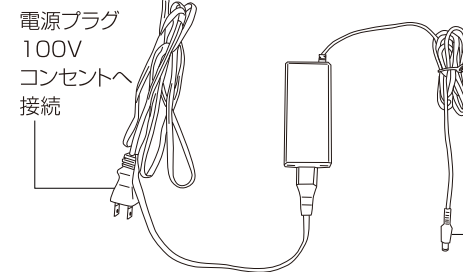


付属品

- 取扱説明書(本書)
- 保証書
- ACアダプター(電源コード含む)

- マウスピース×10本

電源プラグ
100V
コンセントへ
接続



- プリンター用ロール紙×1
- 点検キット
- 調整脚

ACアダプタープラグ
本器背面ACアダプター
コネクターへ接続

※不足しているものがありましたら、弊社サンコーテクノ株式会社(裏表紙)までご連絡ください。
ACアダプターやマウスピース、プリンター用ロール紙、点検キットはオプション品として購入できますので、
弊社サンコーテクノ株式会社(裏表紙)までご連絡ください。

ご使用前に

各部の名称/付属品(つづき)

表示部

電源ON時

測定ボタン選択

2019/08/12
11:51

状況表示など

日付表示/エラー表示など

時刻表示/測定結果表示など

アナウンス表示など

設定時

設定

> 日付設定
時刻設定
音量設定
検出しきい値設定
パスワード変更
簡易点検
バージョン

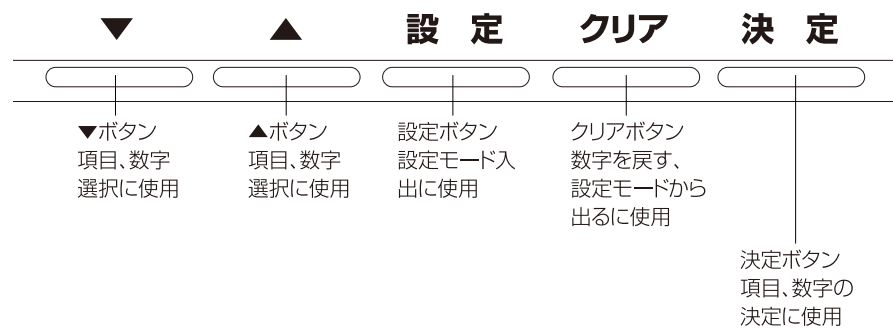
各種設定/パスワード変更

簡易点検実施確認

最新バージョン確認

2019/08/12

操作ボタン拡大

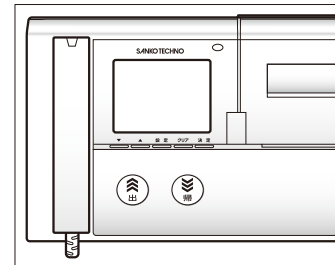


センサーモジュールを取り付ける

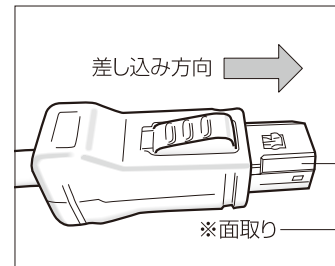
注意



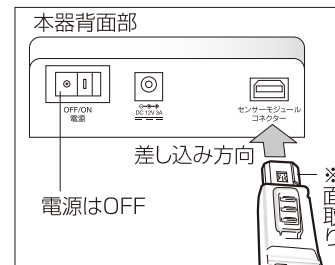
- センサーモジュールを取り付けるときは、必ず本器の電電をOFFにしてください。
▶故障するおそれがあります。
- センサーモジュールプラグの向きを間違えないようにしてください。
▶破損してけがをするおそれがあります。



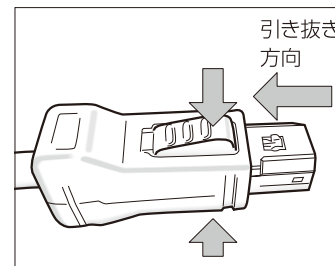
1. 本器の電源をOFFにして、センサーモジュールを本器にセットする。



2. センサーモジュールプラグを左図のような向きにする。
※面取り位置に注意



3. センサーモジュールプラグをセンサーモジュールコネクタに差し込んで接続する。
※面取り位置に注意

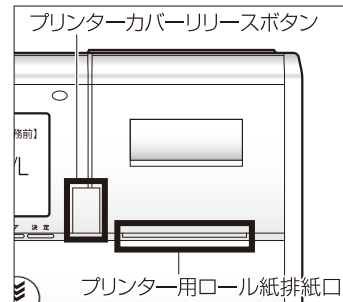


センサーモジュールプラグをセンサーモジュールコネクタから外す場合は、上下ストッパーを押しながら引き抜く。

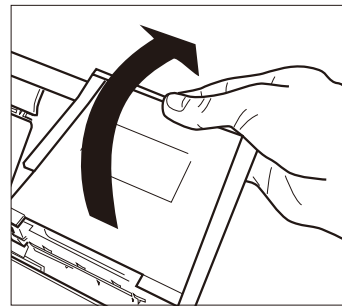
ご使用の前に

準備する

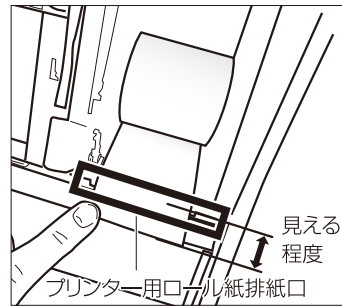
プリンター用ロール紙をセットする



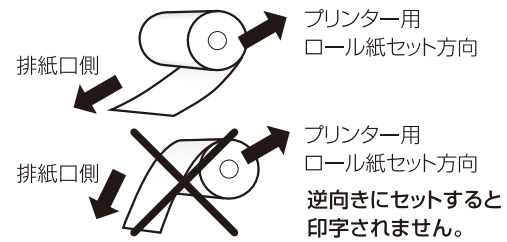
1. プリンターカバーリリースボタンを押す。



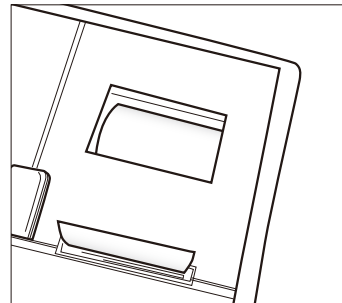
2. プリンターカバーが持ち上がったら、プリンターカバーを開放する。



3. プリンター用ロール紙を図の方向で先端部分が排紙口から見えるように引き出して、指で押さえる。



4. プリンター用ロール紙の先端部分を挟み込むようにプリンターカバーを閉める。

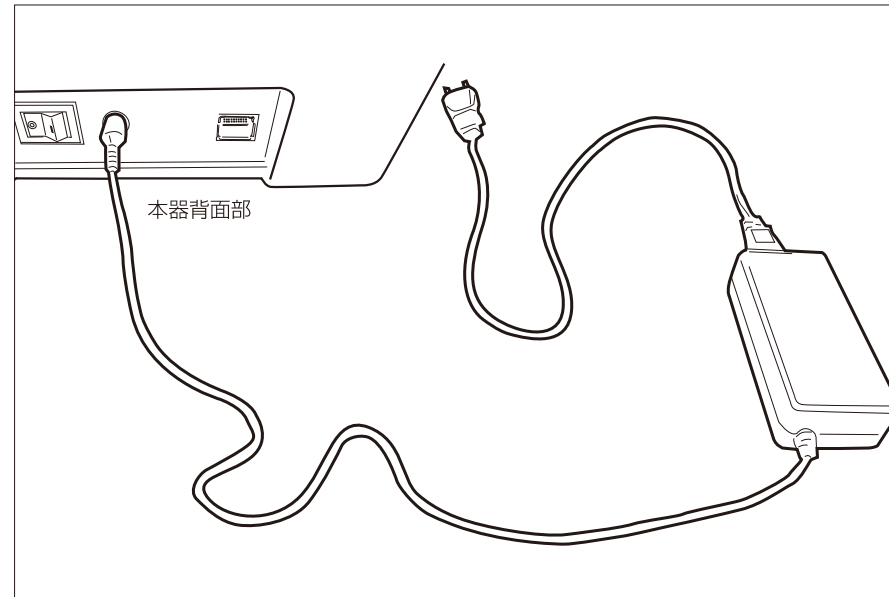
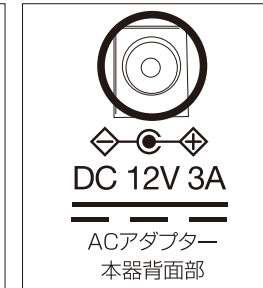
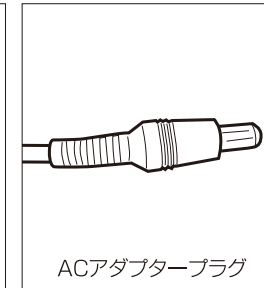
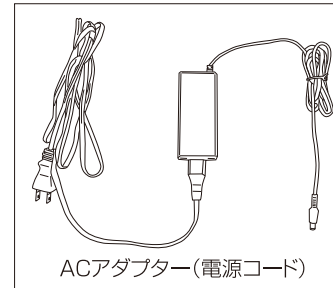


ACアダプターを接続する

警告



- ACアダプターをご使用の場合、濡れた手でプラグを抜き差ししないでください。
▶感電するおそれがあります。
- 本器の性能、品質維持のため、必ず付属のACアダプターをご使用ください。
▶100V以外では使用できません。
- 電源スイッチをOFFにしてACアダプターの抜き差しをしてください。
▶故障するおそれがあります。

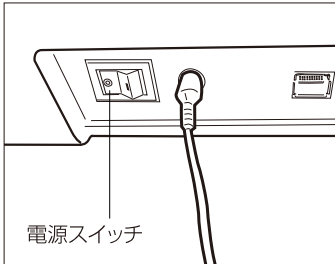


ACアダプタープラグを本器に差し込み、電源プラグを100Vコンセントに差し込んでください。

準備する

電源を入れる

工場出荷時に「日付/時刻」が設定されています。
 「日付/時刻」を確認して狂いがなければ「測定する」へ進んでください。(本書P.21参照)
 他、工場出荷時には「音量3」「検出しきい値0.050mg/L」「パスワード0000」と設定されています。
 「日付」設定、「時刻」設定、「音量」設定、「検出しきい値」設定、「パスワード」変更、「簡易テスト」、「バージョン」の選択ができます。



本体背面の電源スイッチを押して、電源をONする。



表示部に「日付/時刻」が表示される。

お知らせ

- センサーモジュールプラグがセンサーモジュールコネクタに接続されていない場合
 「使用できません センサー無し 電源を切ってセンサーを取り付けてください」と表示されます。
 ▶電源OFFしてセンサーモジュールプラグをセンサーモジュールコネクタに接続してください。
- 電源スイッチをOFFしてからセンサーモジュールプラグの抜き差しをしてください。
 ▶故障するおそれがあります。

使用できません
センサー無し
 電源を切ってセンサーを取り付けてください

⚠ 注意

- 電源ONの状態ですセンサーモジュールプラグの抜き差しはしないでください。
 ▶故障するおそれがあります。

お知らせ

- プリンター用ロール紙がセットされていない場合
 「エラー プリンター用紙が入っていません」「印字しないで測定しますか?」「決定 →測定する」「クリア→中止」と表示されます。
 ▶**決定**を押すと測定は可能ですが印字されません。印字したい場合は**クリア**を押してプリンター用ロール紙をセットしてください。
- プリンターカバーが開いている場合
 「エラー プリンターカバーが開いています」「印字しないで測定しますか?」「決定 →測定する」「クリア→中止」と表示されます。
 ▶**決定**を押すと測定は可能ですが印字されません。印字したい場合は**クリア**を押してプリンターカバーを開けてください。
- プリンター用ロール紙が少なくなると赤い線が現れます。
 ▶速やかに新しいプリンター用ロール紙と交換してください。
- ST-2000専用のプリンターロール紙をご使用ください。
 ▶他のプリンター用ロール紙を使うと紙詰まりの原因となり、故障するおそれがあります。
 ▶ST-2000専用プリンターロール紙を購入する場合は弊社サンコーテクノ株式会社までご連絡ください。

エラー
 プリンター用紙が入っていません
 印刷しないで測定しますか?
 決定 →測定する
 クリア→中止

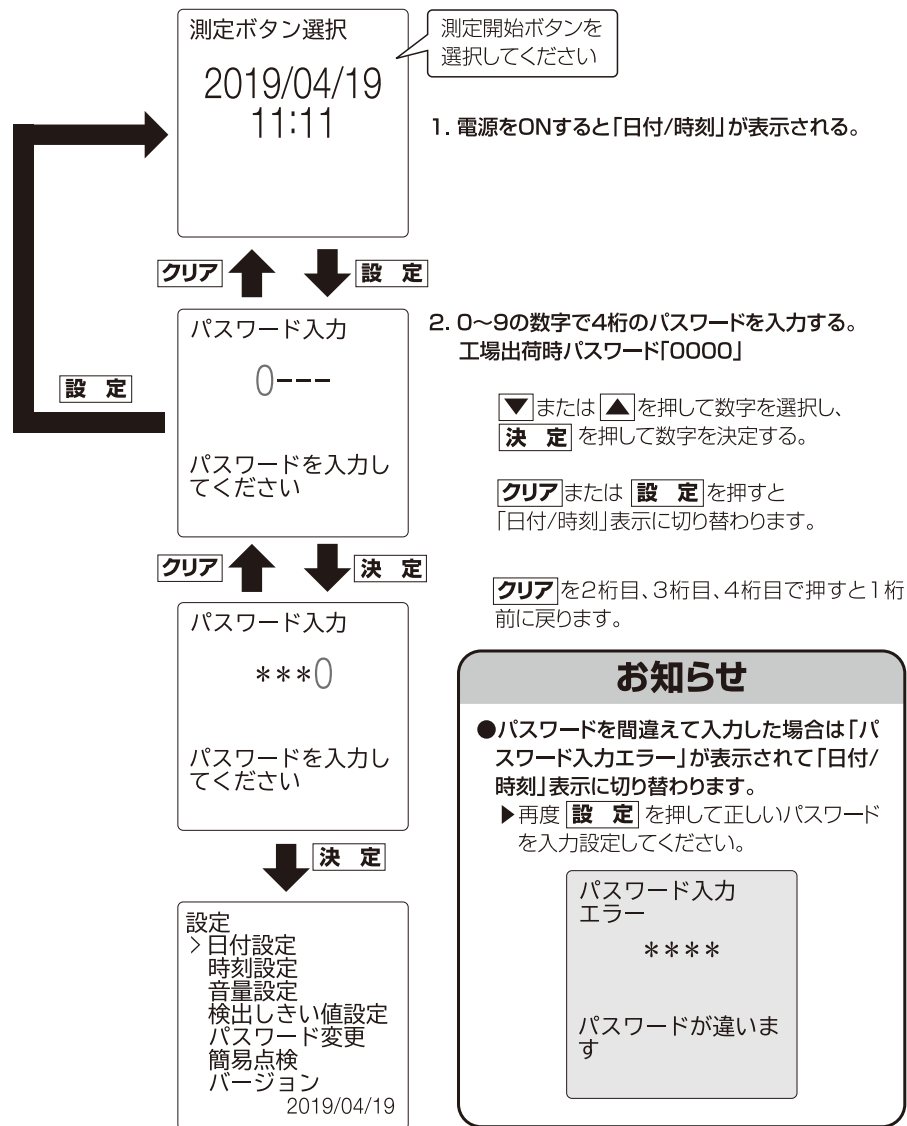
エラー
 プリンターカバーが開いています
 印刷しないで測定しますか?
 決定 →測定する
 クリア→中止

準備する

設定する

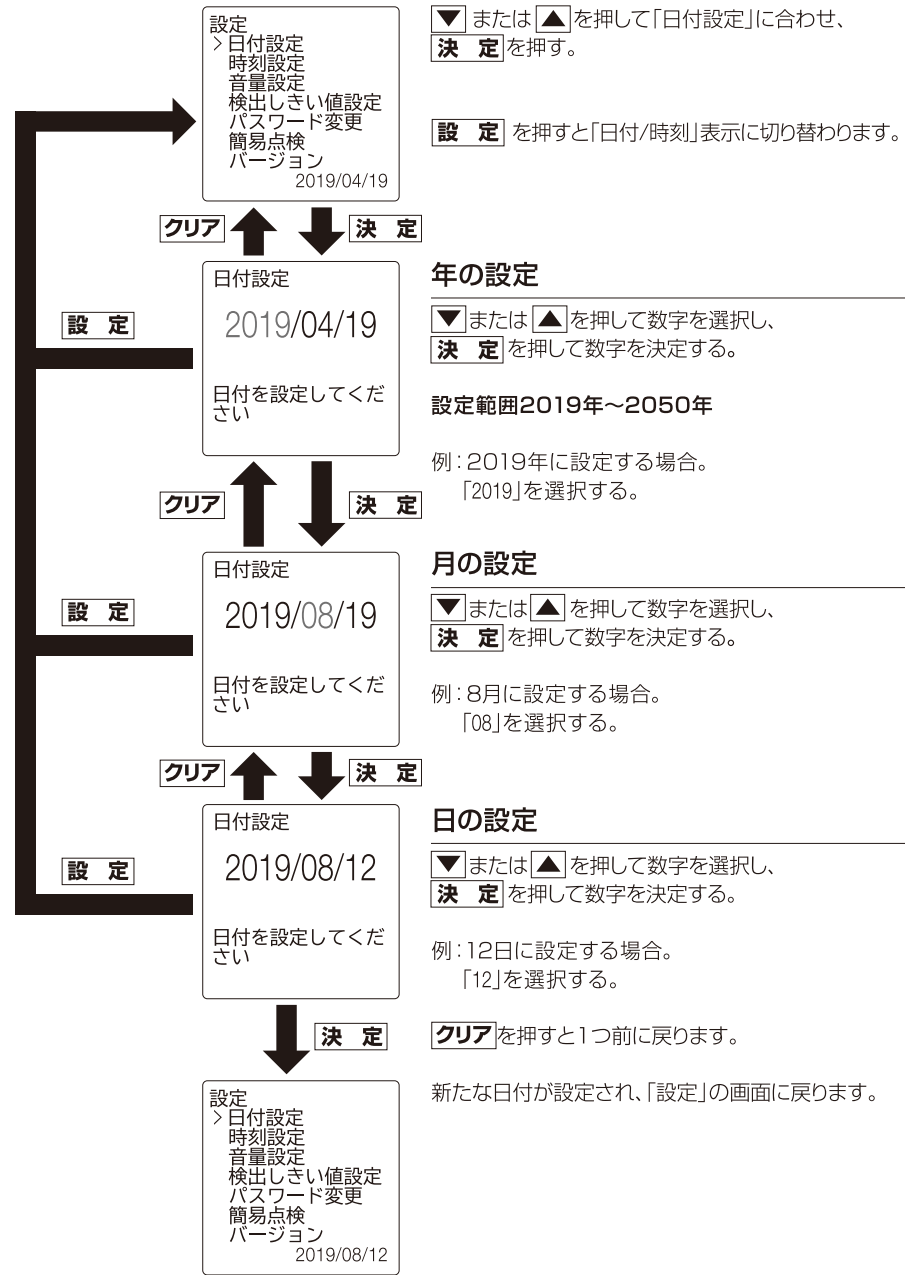
工場出荷時に「日付/時刻」が設定されています。
 「日付/時刻」を確認して狂いがなければ「測定する」へ進んでください。(本書P.21参照)
 他、工場出荷時には「音量3」「検出しきい値0.050mg/L」「パスワード0000」と設定されています。
 「日付」設定、「時刻」設定、「音量」設定、「検出しきい値」設定、「パスワード」変更、「簡易テスト」、「バージョン」の選択ができます。

設定モードに入る



日付の設定をする

例:2019年 8月12日に設定する場合

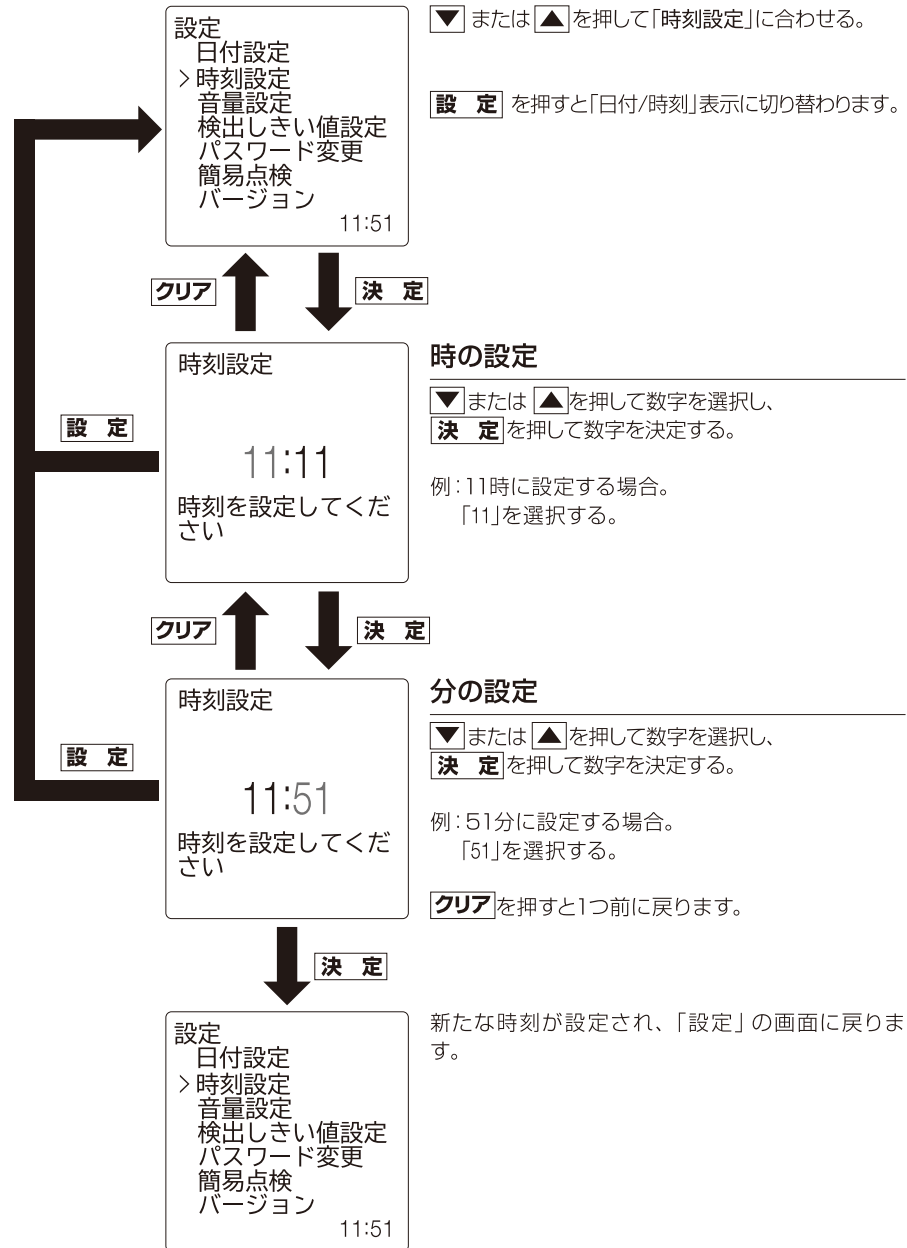


準備する

設定する(つづき)

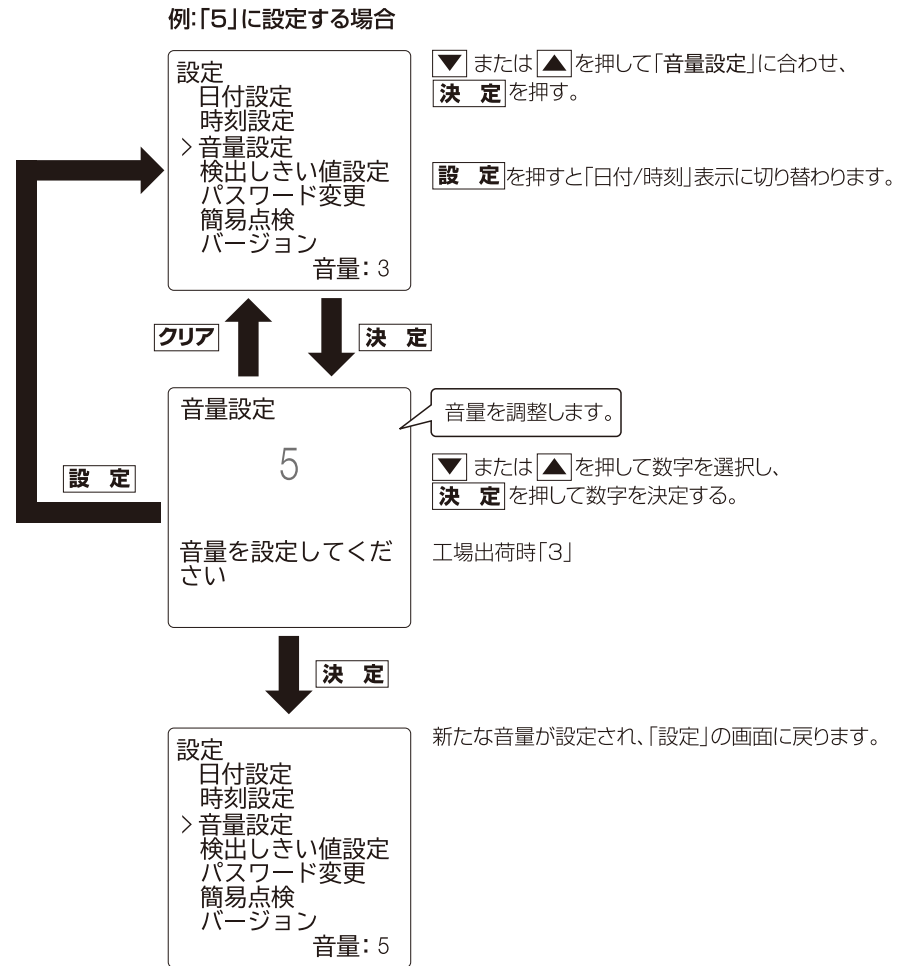
時刻の設定をする

例:午前11時51分に設定する場合(24時間表示)



音量の設定をする

アナウンスの音量を設定します。



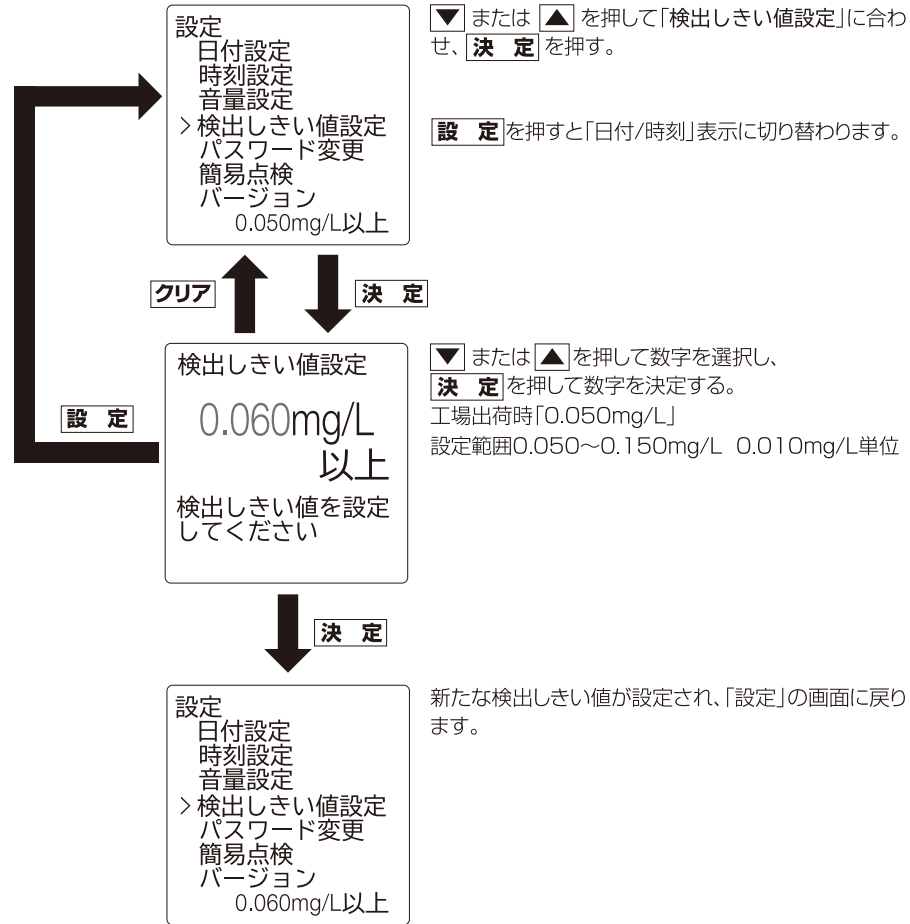
準備する

設定する(つづき)

検出しきい値の設定をする

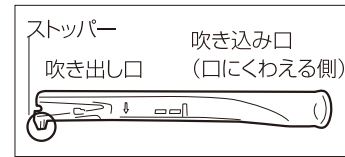
アルコール検出の最小値を設定します。

例:「0.060mg/L」に設定する場合

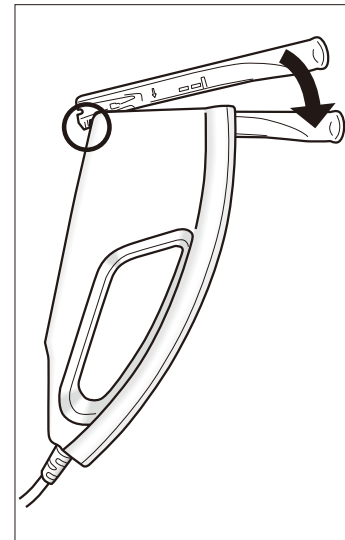


測定する

センサーモジュールにマウスピースを取り付けます。



マウスピースの端面にストッパーがついてます。



本器にマウスピースを取り付ける。

マウスピースのストッパーをセンサーモジュールの左図の位置にひっかけて上からはめ込むと、「カチッ」と音がして取り付けられます。

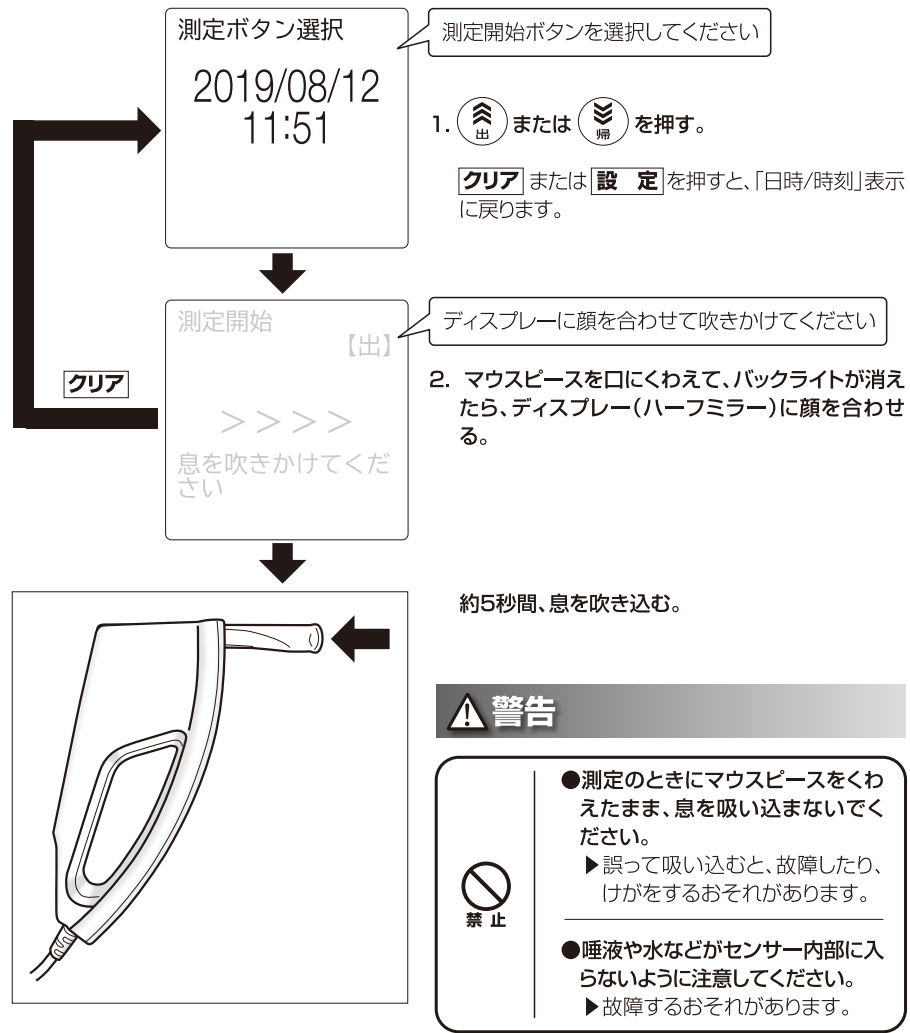
お知らせ

- マウスピースを取り付けるときは、左右にスライドさせて取り付けないでください。
 - ▶ガス取り込み口が破損するおそれがあります。
- センサーモジュールにマウスピースを取り付けた状態で保管しないでください。
 - ▶においや水滴によりセンサーが故障するおそれがあります。
 - 測定が終わりましたらセンサーモジュールから外してください。

準備する

測定する

測定する(つづき)



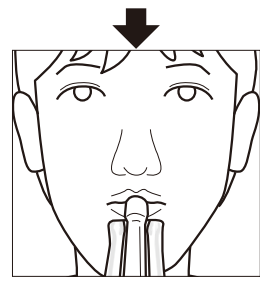
写真撮影のコツ

- ディスプレイに顔を合わせる方法
鼻を中心にして顔全体をディスプレイに入れてください。
- 「測定開始 息を吹きかけてください」が表示されてから、約10秒以内に息を吹き込んでください。
▶約10秒以上たってから息を吹き込んだりまたは、吹き込み不足の場合は「測定結果 エラー もう一度測定してください」が表示されて「日付/時刻」表示に切り替わります。再測定してください。
- 調整脚を取り付ける
本器をカウンター(高さ950mm)に設置して測定する場合、調整脚をつけることでディスプレイ(ハーフミラー)に顔が合わせやすい角度に調整できます。
- 本器背面側底部へ図のように貼り付けてください。
- 貼り付け面に汚れやほこり、水分が付着していたら拭き取ってください。
▶貼り付かないおそれがあります。

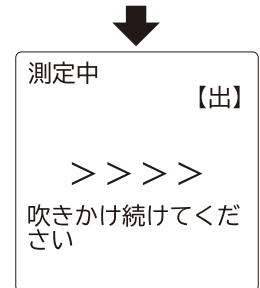
測定結果
エラー
【出】
もう一度測定してください
もう一度測定してください

測定中

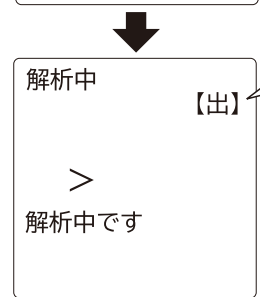
測定する(つづき)



3. 撮影する。
吹き込みを検知すると、カメラが自動的に顔を撮影します。



4. 吹き込みを続ける。
吹き込み中は、「吹き込み中」「吹き込み不足」「吹き込み中断」を判定します。「カチッ」と音がしたら吹き込みをやめ、マウスピースから口を離してください。



解析中です

5. アルコール濃度を解析する。

お知らせ

- 吹き込みが不足していたり、吹き込みを中断すると判定できません。
▶「測定開始 息を吹きかけてください」が表示されたら再度、息を吹き込んでください。
- マウスピースの吹き出し口側を指でふさがらないでください。
▶正しく測定できないおそれがあります。
- 強く吹きかけると息が続かなくなるのでご注意ください。

お知らせ

- 連続測定したときや測定濃度により、解析時間が長くなる場合があります。

測定結果をみる

測定結果

【出】

0.000mg/L
アルコールは検出されませんでした

アルコールは検出されませんでした

6. 測定結果が表示される。

アルコールが検出されなかった場合
アナウンスとともに「0.000mg/L」が表示されます。

測定結果

【出】

検出
0.060mg/L
アルコールが検出されました

ブーブーブーアルコールが検出されました
ブーブーブーアルコールが検出されました
ブーブーブーアルコールが検出されました

アルコールが検出された場合
アナウンス・ブザー音とともにアルコール濃度が表示されます。

測定結果

【出】

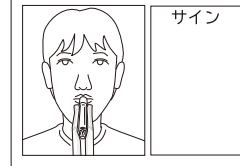
検出
1.000mg/L
アルコールが検出されました

ブーブーブーアルコールが検出されました
ブーブーブーアルコールが検出されました
ブーブーブーアルコールが検出されました

アルコール濃度が上限を超えた場合
アナウンスとともに「1.000mg/L」が表示されます。

社員番号: _____

氏名: _____
測定日時: 2019/08/12 11:51:48
勤務状態: 出
結果: 0.000mg/L



7. 測定結果が印刷されます。
社員番号、氏名、サイン欄は測定管理にご使用ください。

測定結果

測定する(つづき)

準備中

あと
45秒
測定準備中です

測定準備中です

8. センサークリーニング・カウントダウンを開始する。
センサークリーニング・カウントダウンが終了すると「日付/時刻」表示に切り替わり測定可能な状態になります。

お知らせ

- 以下の条件によってセンサークリーニング・カウントダウンの時間が異なります。
 - ▶測定結果0.000mg/L~0.249mg/L:約5秒間~約10秒間
 - ▶測定結果0.250mg/L以上:約20秒間~約100秒間

設定を変更する

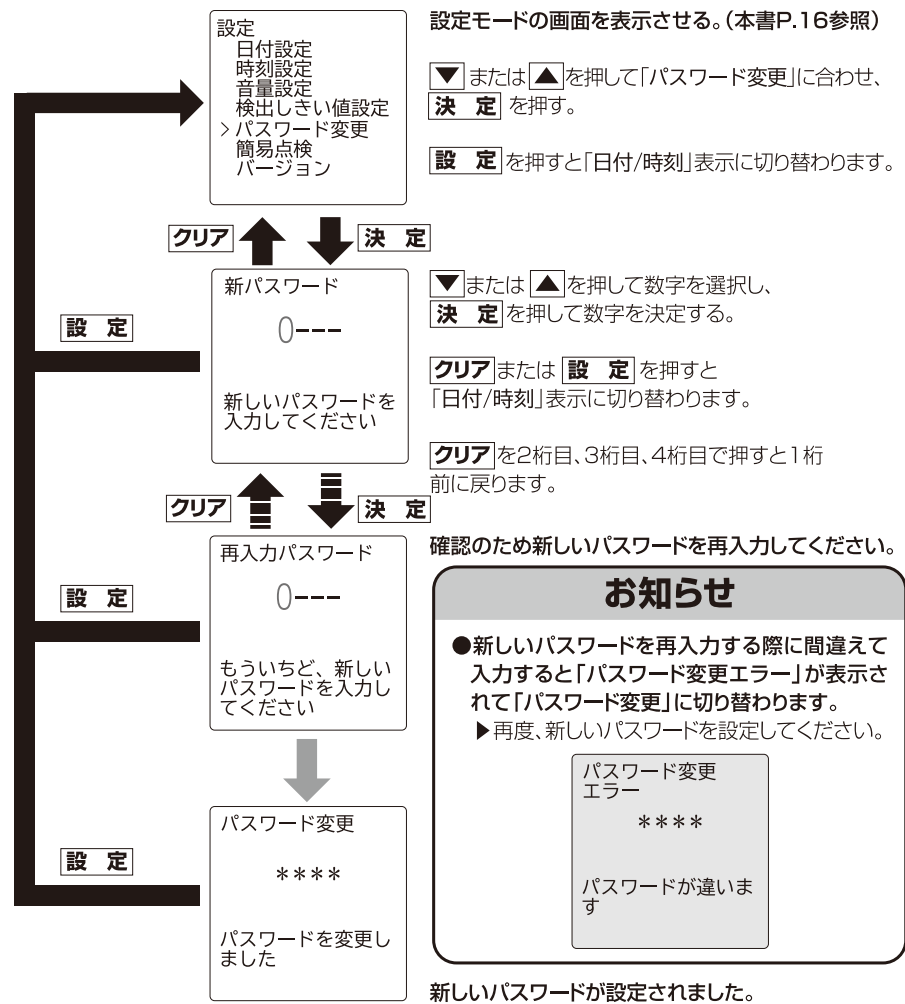
パスワードを変更する

パスワードは設定モードへ入る場合に必要番号です。

- ・工場出荷時のパスワードを変更することができます。
- ・管理者が設定内容を管理する場合、新しいパスワードに変更することをお勧めします。
- ・0~9の数字で4桁のパスワードを設定してください。
- ・工場出荷時パスワード「0000」

お知らせ

- 設定したパスワードは忘れないように手帳などに記録してください。
 - ▶設定や設定内容の変更などができませんので注意してください。

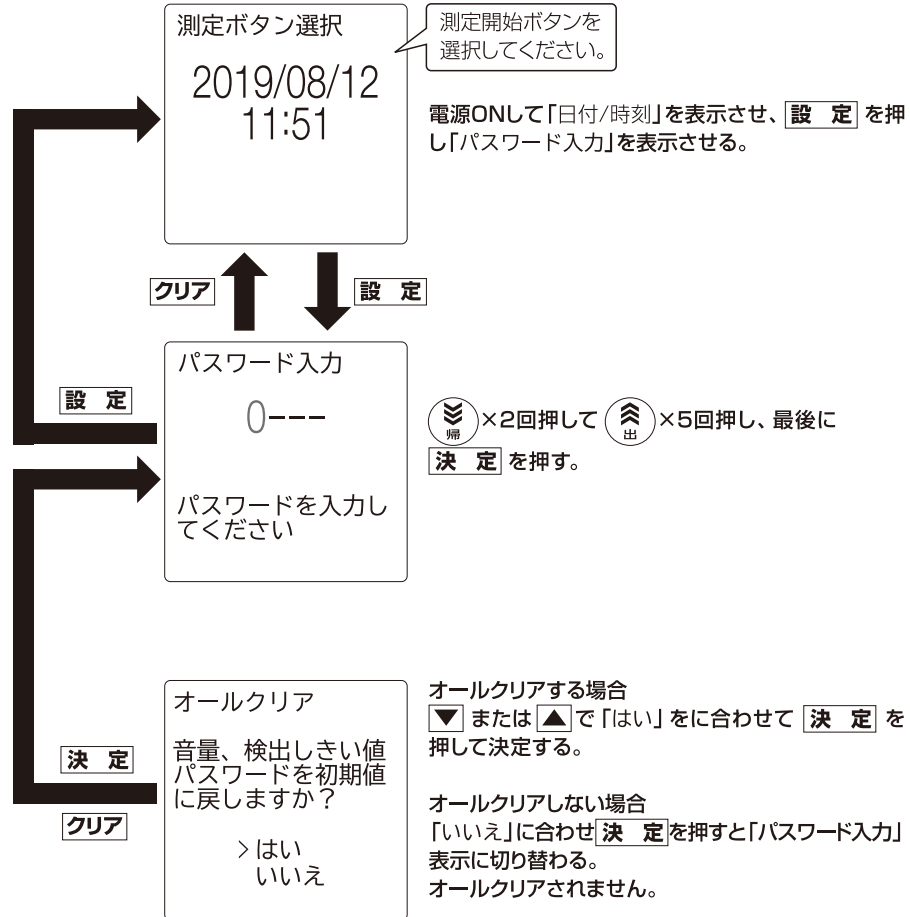


測定中
必要なときに

設定を変更する(つづき)

オールクリア(初期化)

工場出荷時の音量「3」、検出しきい値「0.050mg/L」、パスワード「0000」に戻すことができます。
設定したパスワードを忘れたときなどにご使用ください。



クリーニングについて

連続測定、高濃度測定を行った場合はセンサーモジュールやマウスピースにガスが残ることがあります。

- 連続20回以上測定した場合
- 高濃度測定を行った場合

センサーモジュールからマウスピースを外し、センサモジュールを数回振って、ガスを取り除いてください。

お知らせ

- センサーモジュールやマウスピースに水滴が付着している場合は水滴をふきとってください。

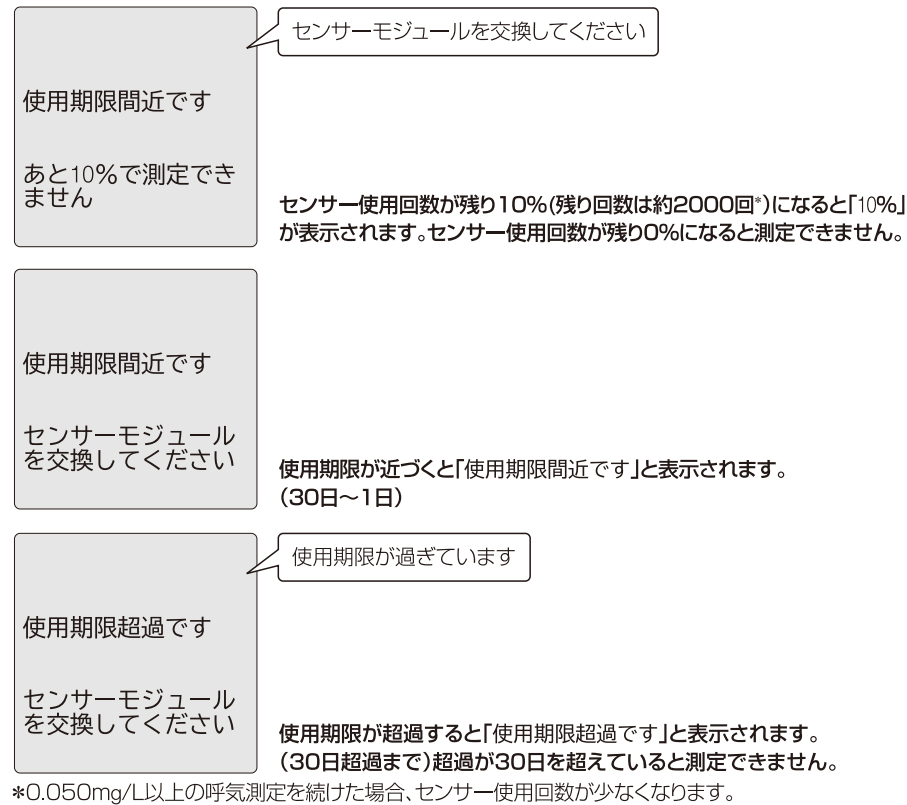
必要ときに

センサー寿命について (定期メンテナンス実施のタイミング)

センサー寿命は、校正有効期限の月まで使用、またはセンサー使用回数、累計約50時間以上(約20000回*の測定に相当)になった場合のどちらか早い方です。測定結果が表示されるとセンサー使用回数が1回カウントされます。測定中断したりエラーが表示された場合はカウントされません。

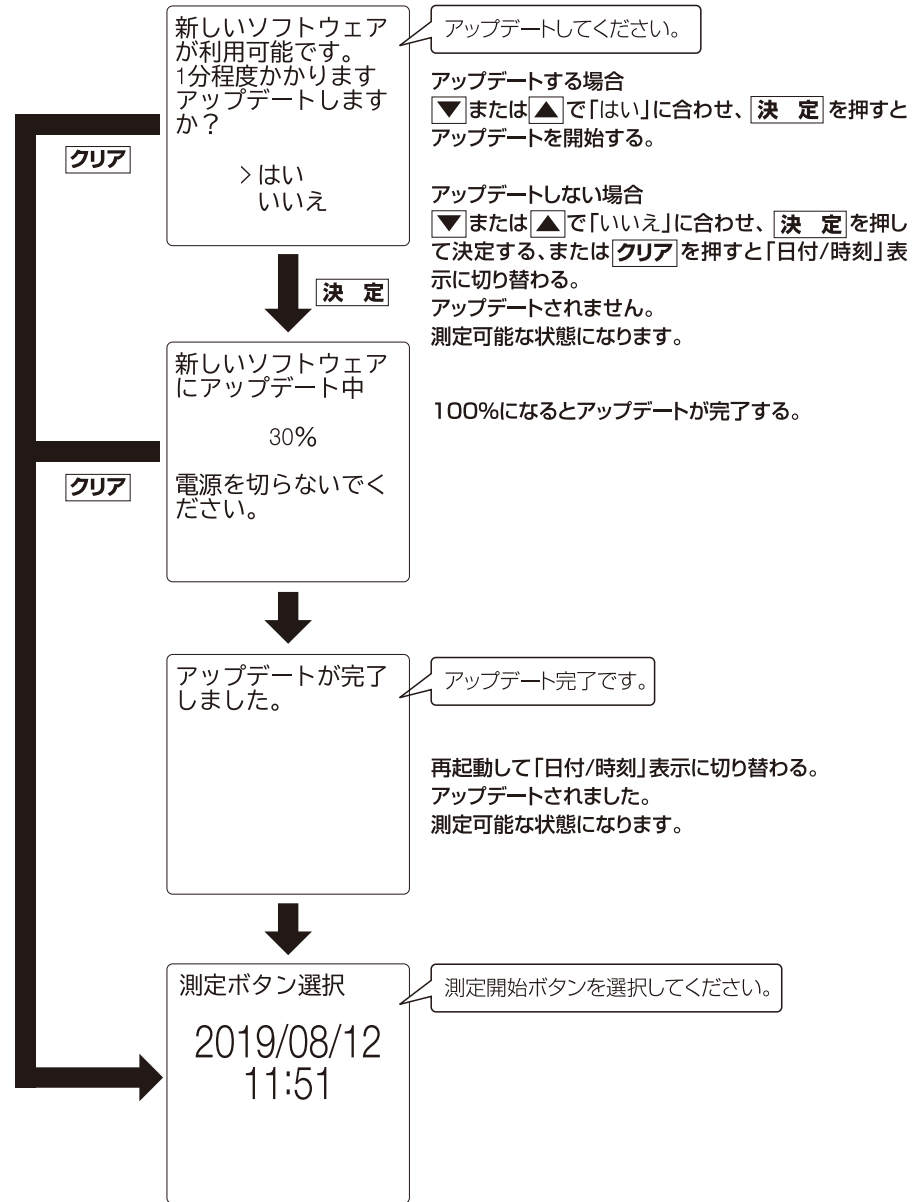
センサー寿命の予告、お知らせの表示結果はすべて印刷されます。

センサー寿命/測定不可



アップデートについて (センサーモジュール交換時)

品質向上のため新しいバージョンのソフトウェアにアップデートします。センサーモジュール交換時に新しいバージョンのソフトウェアがあると、アップデートに切り替わります。



簡易点検について

付属の「点検キット」で「少なくとも1週間に1回以上の確認」をお勧めします。

- ①酒気を帯びていない者が測定し、アルコールを検知しないこと。
- ②液体歯磨など(アルコール含有)スプレーを口内噴霧後測定し、アルコールを検知すること。

「旅客自動車および貨物自動車運送事業者が点検などにおいて用いるアルコール検知器を定める告示」において、毎日確認することが望ましく、少なくとも1週間に1回以上確認すべき事項として定められています。

点検する

お知らせ

- 測定して結果が表示されたあとすぐに簡易点検を行うときは、センサーモジュールにガスが残っている場合があります。
▶センサーモジュールを数回振ってガスを取り除いてください。

設定

日付設定
時刻設定
音量設定
検出しきい値設定
パスワード変更
▶簡易点検バージョン

1. ▼ または ▲ を押して「簡易点検」に合わせ、**決定** を押す。

測定開始 簡易点検

>>>>
息を吹きかけてください

ディスプレイに顔を合わせて吹きかけてください

2. 「測定開始 簡易点検 息を吹きかけてください」が表示される。

測定結果 簡易点検

0.000mg/L
アルコールは検出されませんでした

アルコールは検出されませんでした

- ①水でうがいを行い、10分以上時間を空けた後、通常通りアルコール測定を行い、アルコール測定値が【0.000mg/L】であることを確認します。

*簡易点検結果を印刷します。

測定結果
簡易点検
検出
0.060mg/L
アルコールが検出されました

*簡易点検結果を印刷します。

測定結果
簡易点検
0.000mg/L
アルコールは検出されませんでした

*表示結果を印刷します。

ブーブーアルコールが検出されました
ブーブーアルコールが検出されました
ブーブーアルコールが検出されました

- ②アルコール検知器点検スプレーを口腔内に2~3回程度噴射します。
- ③口腔内に噴射後、再度アルコール測定を行い、アルコールが検出されたことを確認します。
- ④アルコールが検出された後、水でうがいを行い、10分以上時間を空けた後、スプレーを口に含まず通常通り測定を行います。
- ⑤測定結果が【0.000mg/L】であることを確認して、簡易点検は終了となります。

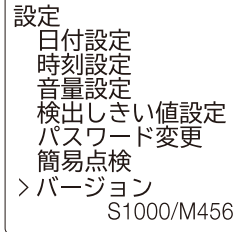
お知らせ

- ①アルコールが検出されたら弊社サンコーテクノ株式会社までご連絡ください。
- ③アルコールが検出されなかった場合は、口腔内のアルコール濃度がアルコール検知器のしきい値を満たしていないことがあります。その際は、スプレーを口腔内に数回噴射して、再度測定をしてください。再測定後もアルコールが検出されない場合には、弊社サンコーテクノ株式会社までご連絡ください。
- ⑤アルコールが検出される場合は、水でうがいを行い、10分以上時間を空けた後、再度測定してください。再度測定後もアルコールが検出される場合は、弊社サンコーテクノ株式会社までご連絡ください。
- 簡易点検を行うとセンサー使用回数が1回カウントされます。
- 以下の条件によってセンサークリーニング・カウントダウンの時間が異なります。
▶測定結果0.000mg/L~0.249mg/L:約5秒間~約10秒間
測定結果0.250mg/L以上:約20秒間~約100秒間

必要ときに

バージョン確認

故障時の問い合わせで使用場合があります。
 本器のソフトバージョン番号の確認ができます。
 バージョン確認が必要な場合にご利用してください。



▼ または ▲ を押して「バージョン」に合わせる。

表示部下段にソフトバージョン番号が表示されます。

故障かな？

現象	ご確認ください
測定結果が高めに出る	<ul style="list-style-type: none"> ● 口の中にアルコール成分が残っていませんか？ ▶ うがいをして再度測定してください。 ● 食事、喫煙、オーラルケア用品を使用した直後に測定していませんか？ ▶ うがいをする、もしくは20分以上経過してから測定してください。 ● センサーモジュールに強いにおいがみついていませんか？ ▶ センサーモジュールを数回振ってにおいを取り除いてください。 ● においがある場所で測定していませんか？ ▶ 場所を変えて測定してください。 ● マウスピースににおいがみついていませんか？ ▶ マウスピースを水洗いし、よく乾かしてから再度測定してください。または新品と交換してください。
測定結果が低めに出る	<ul style="list-style-type: none"> ● マウスピースが所定の場所にセットされていますか？ ▶ マウスピースをもう一度所定の場所にセットしてから測定してください。 ● 風のある場所で測定していませんか？ ▶ 場所を変えて測定してください。
測定結果が一致しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 風のある場所で測定していませんか？ ▶ 場所を変えて測定してください。 ● においがある場所で測定していませんか？ ▶ 場所を変えて測定してください。 ● 口の中にアルコール成分が残っていませんか？ ▶ うがいをして再度測定してください。 ● 食事、喫煙、オーラルケア用品を使用した直後に測定していませんか？ ▶ うがいをする、もしくは20分以上経過してから測定してください。

必要なときに

故障かな?(つづき)

現象	ご確認ください
飲酒していないのにアルコール濃度の数値が表示される	<ul style="list-style-type: none"> ●食事、喫煙、オーラルケア用品を使用した直後に測定していませんか? ▶うがいをする、もしくは20分以上経過してから測定してください。 ●においがある場所で測定していませんか? ▶場所を変えて測定してください。 ●センサーモジュールやマウスピースの内部にガスが溜まっていますか? ▶マウスピースを数回振ってガスを取り除いてください。 ▶マウスピースをきれいに水洗いし、よく乾かしてから測定してください。
電源ONしても何も表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ACアダプターは正しく接続されていますか? ▶ACアダプターのコンセント、プラグを正しく接続してください。 ●コンセントやプラグの接続部分にゴミがついていませんか? ▶コンセントやプラグのゴミを取り除いてください。 ●専用のACアダプターを使用していますか? ▶専用のACアダプターを使用してください。 ●ACアダプターのコードなど断線していませんか? ▶新しいACアダプターと取り替えてください。
エラーが発生しました 電源を入れ直してください	<ul style="list-style-type: none"> ●センサー故障の可能性があります。 ▶電源を入れ直しても再度、表示された場合は弊社サンコーテクノ株式会社までご連絡ください。
使用できません センサー異常 診断コード: xxx 電源を入れ直してください 再び表示される場合はサービスセンターに連絡してください	
アップデートに失敗しました。 電源を入れ直してください。	
	<ul style="list-style-type: none"> ●内部エラーの可能性があります。 ▶電源入れ直しても再度、表示された場合は電源元を変える、またはしばらく時間を置いてからやり直してください。

現象	ご確認ください
パスワード変更エラー **** パスワードが違います	<ul style="list-style-type: none"> ●新しいパスワードを間違えて再入力していませんか? ▶再度、新しいパスワードを設定してください。
使用できません センサー無し 電源を切ってセンサーを取り付けてください	<ul style="list-style-type: none"> ●センサーモジュールプラグをセンサーモジュールコネクタに接続していますか? ▶電源OFFしてセンサーモジュールプラグをセンサーモジュールコネクタに接続してください。 (本書P.11参照) ●プラグやコネクタの接続部分にゴミがついていませんか? ▶プラグやコネクタのゴミを取り除いてください。 ●ケーブル断線やプラグ、コネクタ部分の接触不良を起こしていませんか? ▶センサーモジュールを交換してください。 弊社サンコーテクノ株式会社までご連絡ください。
エラー プリンター用紙が入っていません 印刷しないで測定しますか? 決定 →測定する クリア→中止	<ul style="list-style-type: none"> ●プリンター用ロール紙をセットしてください。 (本書P.12参照)
エラー プリンターカバーが開いています 印刷しないで測定しますか? 決定 →測定する クリア→中止	<ul style="list-style-type: none"> ●プリンターカバーを閉めてください。 (本書P.12参照)
エラー センサーエラー エラー番号: **** もう一度測定してください 再び表示される場合はサービスセンターに連絡してください	<ul style="list-style-type: none"> ●センサーエラーです。 ▶電源を入れ直して再度、測定してください。 ▶改善されない場合は故障の可能性があるので弊社サンコーテクノ株式会社までご連絡ください。

故障かな? (つづき)

現象	ご確認ください
<p>もう一度測定してください</p> <p>測定結果 【出】 エラー</p> <p>もう一度測定してください</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●「測定開始 息を吹きかけてください」が表示されたら10秒以内に息を吹き込みましたか? ▶「測定開始 息を吹きかけてください」が表示されてから10秒以内に息を吹き込んでください。
<p>使用期限間近です</p> <p>センサーモジュールを交換してください</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●使用期限が近づいています。(30日~1日) ▶定期メンテナンスの流れ(本書P.3参照)
<p>使用期限が過ぎています</p> <p>使用期限超過です</p> <p>センサーモジュールを交換してください</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●使用期限が超過しています。(30日超過まで) ▶定期メンテナンスの流れ(本書P.3参照)
<p>センサーモジュールを交換してください</p> <p>使用期限間近です</p> <p>あと10%で測定できません</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●センサー使用回数残り10%(残り回数は約2000回*)を超えていませんか? ▶定期メンテナンスの流れ(本書P.3参照)

現象	ご確認ください
<p>測定できません センサーモジュールを交換してください</p> <p>測定できません センサーモジュールを交換してください</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●超過が30日を超えていませんか?またはセンサー使用回数残り0%(約20000回*の測定に相当)を超えていませんか? ▶定期メンテナンスの流れ(本書P.3参照)
<p>測定開始ボタンを選択してください</p> <p>測定ボタン選択</p> <p>2000/01/01 00:00</p> <p>電源スイッチON すると常に表示</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●内臓のリチウム電池が切れています。 ▶日付の設定を行えば通常通り使用できます。 10分以上は電源スイッチをOFFしないでください。

印刷を開始したあとに発生するエラー

<ul style="list-style-type: none"> ●プリンター用ロール紙がセットされていない場合 <p>エラー プリンター用紙が入っていません</p> <p>用紙を補給してください</p> <p>決定 →印刷する クリア→印刷しない</p> <p>▶プリンターロール紙をセットしてから「決定」を押してください。 印字しない場合は「クリア」を押してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●プリンターカバーが開いている場合 <p>エラー プリンターカバーが開いています</p> <p>しっかりと閉じてください</p> <p>決定 →印刷する クリア→印刷しない</p> <p>▶プリンターカバーを閉めてから「決定」を押してください。 印字しない場合は「クリア」を押してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●紙詰まりなどが発生した場合 <p>エラー 印刷時にエラーが発生しました</p> <p>紙詰まりなどを確認してください</p> <p>決定 →印刷する クリア→印刷しない</p> <p>▶紙詰まりや紙くずを取り除いてから「決定」を押してください。 印字しない場合は「クリア」を押してください。</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

*0.050mg/L以上の呼気測定を続けた場合、センサー使用回数が少なくなります。

必要なときに